

# 倉庫業務改善プログラム

## 荷主企業・物流子会社向け

「倉庫業務改善プログラム」とは、船井総研ロジが保有する“物流現場運営ノウハウ”と“物流現場改善ノウハウ”を組み合わせ、物流現場での継続的なカイゼン活動を可能にするプログラムです。

倉庫業務の改善が定着することで、コスト部門が**プロフィット部門**に変わります。

- ①現場で発生している問題(現象)を捉える
- ②原因を追究する
- ③改善策を策定する
- ④効果を評価する



この一連の改善プロセスを、船井総研ロジのコンサルタントが貴社の物流現場担当者とともに活動します。コスト削減と人材育成を並行して実行できる実践的なプログラムです。

## 《荷主企業が運営する現場で見られる問題点》

### 売上対物流費を低減したい！

- この2～3年間の売上対物流コストが上昇傾向にある
- 社内で物流コスト低減の具体策を求められている

### 継続して改善に取り組みたい！

- 現場作業員が改善に前向きに取り組まない
- 改善推進するために何から手を付けたらよいかわからない
- 改善してもすぐに前の作業方法に戻ってしまう
- 改善はこれ以上無理だと思っている

### 作業品質を向上したい！

- 工程内ミス(入庫ミス、ピッキングミス)が管理できていない
- 作業品質を数字で評価できない

### 作業方法を変えたい！

- 運送会社のカット時間が前倒しになったため、作業効率を上げなければ出荷量が多くなると出荷が間に合わない
- 営業部門からの要望が複雑化し業務負担が増大している
- 長年同じやり方で熟練者が作業しているため、作業能率に問題は無いと思っている

### 現場を視える化したい！

- 荷量の多い少ないに関わらず、概ね同じ時間に作業が終了する
- 仕事量に対する必要工数(時間)が現場に表示されていない
- 現場をコントロールできる人材が育たない
- 毎日の人員配置は工程別のリーダーに任せている
- 現場を見てもひと目でその日の仕事量と作業進度がわからない



## 《船井総研ロジの考える倉庫業務改善》

- 倉庫業務改善による能率(生産性)の向上や品質の向上の成果を得るためには、**継続して取り組む姿勢**が必要といえます。

瞬間的に改善を施しても、現場でその必要性及び目的が理解されていなければ短期間で元の現場に戻ります。

- 現場作業員からすると元の作業方法の方が慣れており、能率(生産性)も高いというのが 元に戻る理由に挙げられます。

- 現場で倉庫業務改善を進めるには下記のポイントが重要です。

- ①今の現場の何がムダなのかを客観的に視えるようにすること
- ②非効率な状態が数値でわかるようにすること
- ③改善する狙いと効果目標をメンバーで共有すること
- ④改善して効果測定、評価をメンバーで実行すること

- 当プログラムでは現場の現状把握からスタートし、**問題点を見つける視点、改善策検討の視点、現場導入の視点**などを 船井総研ロジからお伝えします。

現場では常に活動し続ける必要性を感じ取っていただき、現場を継続して変える意識を一緒に作り上げましょう。





## 《船井総研ロジの倉庫業務改善の特徴》

### ■船井総研ロジ倉庫業務改善の特徴

#### プログラム の特徴

#### 現場に残る指導方法

当該プログラムでは現場を詳細に理解して現場担当者と一緒に取り組みます。  
弊社のコンサルタントが訪問しなくても取り組める体制まで落とし込むことを考慮して指導します。

#### 成果にこだわった取り組み

当該プログラムは単なる教育ではありません。実際にコストダウンの成果を出すことに注力し、  
教育とコストダウン実践を合わせて提供する船井総研ロジ独自のプログラムです。

船井総研ロジでは倉庫業務改善を成功させるために5つの取り組みを取り入れています。

- **事前の勉強会**を実施し、プロジェクト参加者に倉庫改善の必要性を理解していただく
- **道具や手法にこだわらず**、現場で発生する事象に合わせた対応策を検討する
- **継続できる運営体制**を意識して人財を育成する
- 検討されたカイゼン案は**即実行**して成果検証する習慣を定着させる
- 取り組みに応じた**目標を設定**し、組織でその**達成度を評価**することでメンバーのモチベーション維持を図る

### ■導入のメリット

人財育成

倉庫作業コストの削減

精度の向上  
(誤出荷・棚卸制度)

問題抽出力の向上

提案力の向上

改善PDCAの定着

## ◀船井総研ロジの強み▶

『5S導入』と『現場改善』における船井総研ロジの強みは下記になります。

### 幅広い業種業界の事例

船井総研ロジは『ロジスティクス』というキーワードで数多くの企業を支援してきました。

多岐にわたる業界、業種のロジスティクス現場のノウハウを蓄積しており、既存体制に囚われない抜本的な検討が可能です。

### 有効な数値・図式の見える化ツール

物流の現場は管理者や担当者の中にあります。その現場を船井総研ロジがコンサルティングの中で利用してきたツールを貴社現場にカスタマイズし、図式化・数値化します。

図式と詳細数値で見える化することで明確な評価が可能になります。

### 物流視点にカスタマイズした5S・改善活動

物流の現場における5Sと現場改善は生産現場のそれとは異なると考えられがちです。

物流の現場は平準化することが困難で、それによる作業の集中が問題になります。船井総研ロジでは現場のカイゼン定着を考慮し、各社の物流現場に合わせた改善手法を実践します。

### 現場の定着を考えたプログラム

コンサルティングの指導期間は5Sと現場改善は実行できても、それ以降自主的に進めることが困難という企業も少なくありません。

船井総研ロジでは現場の定着を考慮して担当者に指導します。貴社にノウハウが残る指導が弊社の特徴です。

# 《プログラムの成果物》

1. 現場分析ツール(表 & 図のフォーマット)
2. 現場の問題点一覧
3. 問題のカイゼン方向性
4. プロジェクトメンバー内のカイゼン検討ノウハウ
5. カイゼンされた現場(5S・能率・品質・リードタイムのカイゼン)

## ツールイメージ

### 見える化 工程分解

### 見える化 タイムフロー

### 見える化 工程分解

△: 搬入/搬出   ▽: 搬入/搬出   ◇: 搬入/搬出   □: 搬入

① 搬入作業フロー

② 搬出作業フロー

### 作業改善シリー

作業改善シリー

作業改善シリー

作業改善シリー

### 作業習熟量取り表

品名	作業員	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間
□ 作業	作業員	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間
□ 作業	作業員	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間
□ 作業	作業員	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間	作業時間